

THE TAIKO GIRLS



長崎県ビッグバンドジャズフェスティバル



させぼダンスフェスティバル Space 6



エイサーサークル



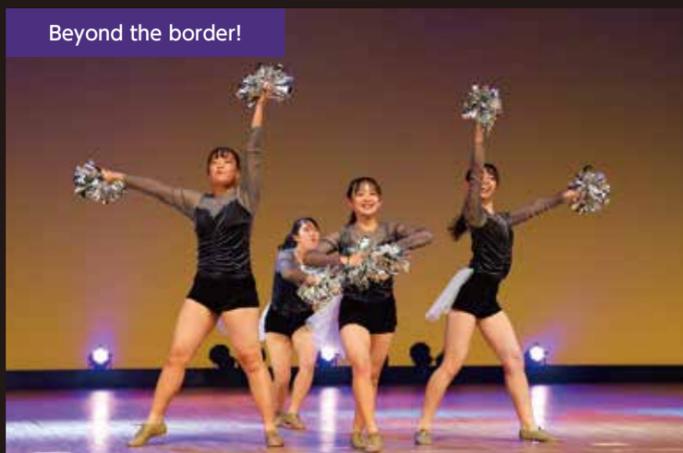
高校生書道パフォーマンス



金魚ねぶた絵付け体験



Beyond the border!



させぼを見る・読む・演じるプロジェクト



Re: 楽園祭生配信@佐世保ベース



第10回させぼ文化マンス Re: 楽園祭

11月13日(土)、14日(日)、佐世保の文化を発信する強化月間「させぼ文化マンス」のメインプログラム「Re: 楽園祭」がアルカスSASEBOで開催されました。

ことしで10回目を迎える「楽園祭」には子どもから大人まで幅広い世代の人々が参加。ダンスや音楽、芝居など16団体による催しが行われ、約1万人が訪れました。

ことしも高校生による司会進行の下プログラムが進められ、長崎国際大学生「エイサーサークル」による沖繩の伝統芸能演舞や佐世保西高校生による「THE TAIKO GIRLS」、佐世保商業高校生によるバトントリリング「Beyond the border」^{ホーダー}など、学生の皆さんの活躍が目立ちました。

恒例となった「高校生書道パフォーマンス」や「させぼダンスフェスティバル Space 6」「長崎県ビッグバンドジャズフェスティバル」にはたくさんのお客さんが訪れ、パフォーマンスが終わると声援の代わりにたくさんの方々が拍手を送りました。

また、会場では「佐世保ベース」の皆さんによるインターネットライブ配信も行われ、各イベントの見どころ紹介や出番を終えた出演者たちとのトークショーなど、会場に登場していない人も楽しめるようにイベントを盛り上げていました。

その他、初開催となった青森県五所川原市のねぶた師による「金魚ねぶた絵付け体験」や劇団HIT-STAGEによる「させぼを見る・読む・演じるプロジェクト」では、家族で楽しそうに参加したり、佐世保弁でのお芝居で会場が笑いに包まれたりする様子を見ることができ、参加者の皆さんそれぞれが佐世保の文化を楽しんでいたようでした。

◎文化振興課 ☎24・11111



イベントの司会進行を行う市内の高校生たち